

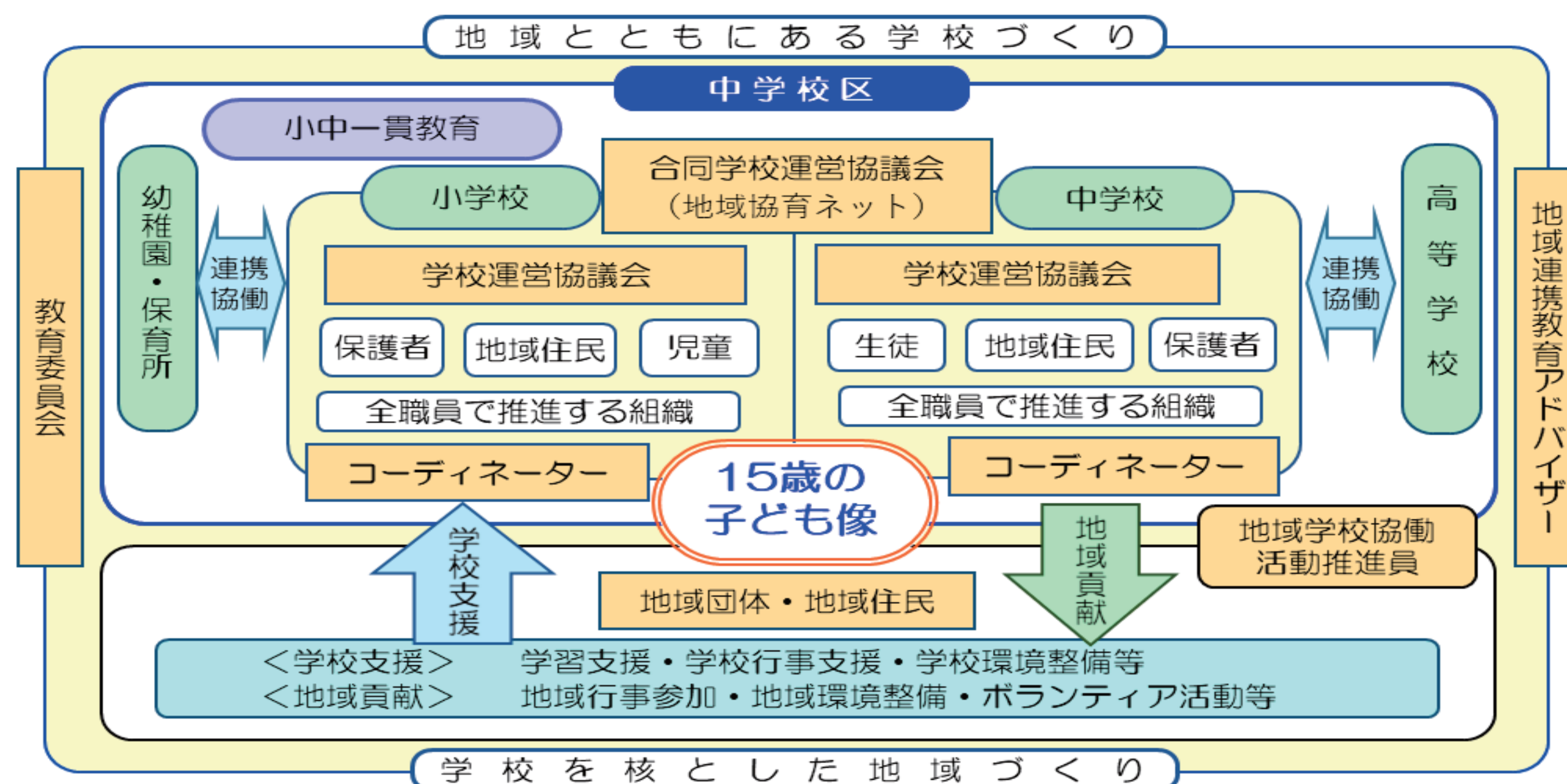


光市
HIKARI CITY

光市の推進構想 『連携と協働で育む光の教育』

◆光市がめざすコミュニティ・スクールの方向性

中学校区で「15歳の子ども像」を共有し、学校も家庭も地域も、それぞれが子どもと真剣に向き合い、子どものことを真剣に考える『共に育てる＋共に育つ』の視点のもと、お互いに自らできることについて、知恵を出し合う活動をととして、学び合う組織と学びでつながるコミュニティ・スクールをめざします。



◆光市におけるコミュニティ・スクールの充実に向けた重点取組

- 地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員との連携強化
 - ・情報交換会の実施
 - ・推進員の役割等について周知
 - ・地域協育ネットの仕組みを生かした取組の推進
- 主体的・対話的な学校運営協議会の運営
 - ・事前打合せの実施
 - ・活動のねらい等について学校、地域、家庭が共有
 - ・児童生徒の熟議への参加
 - ・他校区の取組について情報交換する場の設定
 - ・全教職員が関わることができる仕組みづくり
- 教育委員会の継続的な支援
 - ・光市コミュニティ・スクール研究協議会（年2回開催）
 - ・地域協育ネット研修会
 - ・地域学校協働活動推進員連絡会

重点取組事項の
進捗を測る指標

- ・協議の場や行事等への参加、学校訪問における聞き取り
- ・「学校・地域連携カリキュラム」や学校評価を通じた検証

活動取組

光井学園

生徒と企業による地域貢献



地域のイベントに中学生がブースを出し、企業の講師とともに地域の大人対象のスマホ相談会を運営した。

あさなえ学園

地域学習への保護者参加



地域の方の指導の下、学年PTA活動で自然体験学習を実施。保護者も一緒に地域の自然について学んだ。

やまと学園

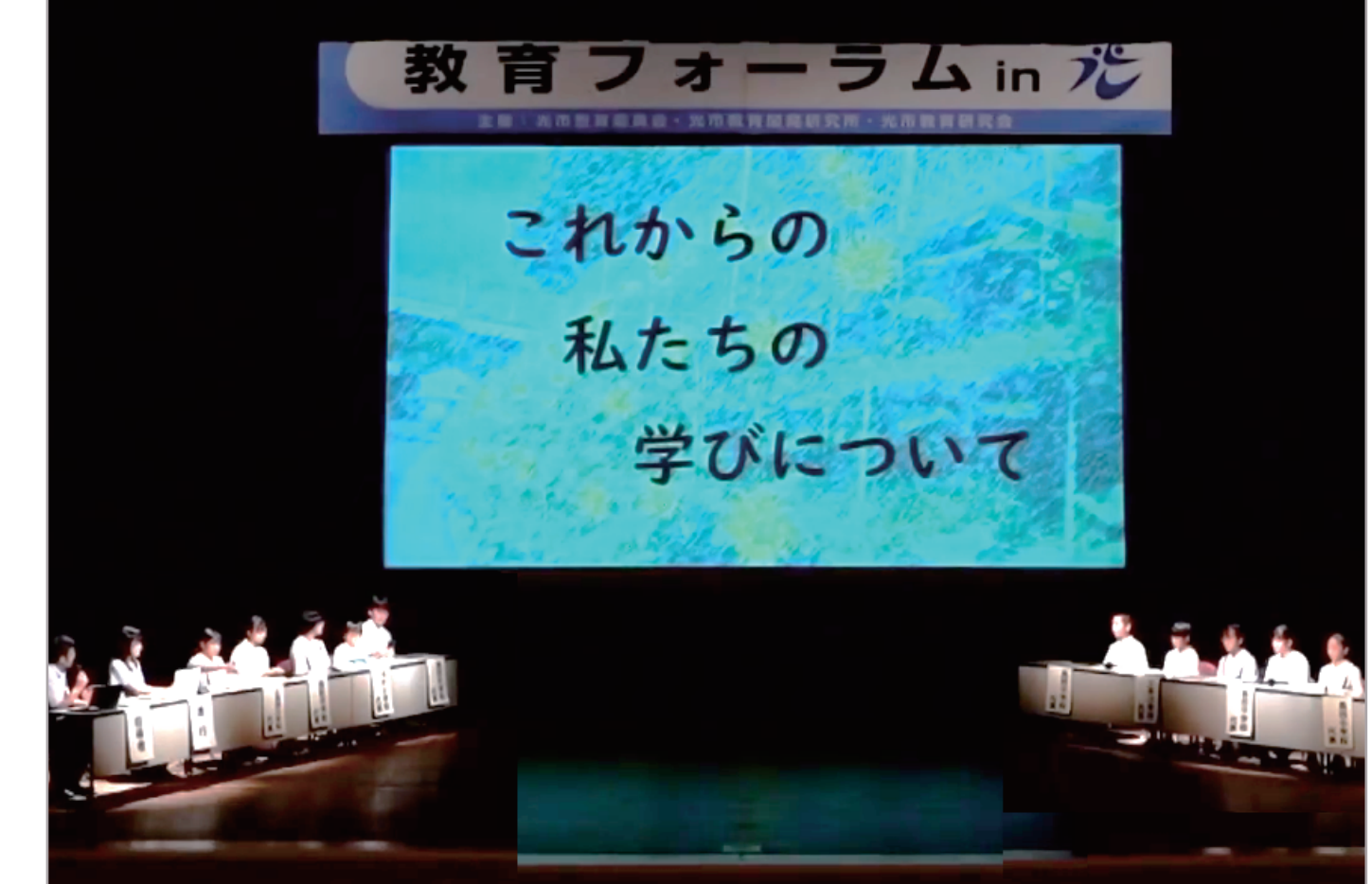
地元企業との商品開発



地元企業と協力して開発した商品を地域の祭りで販売し、地域の魅力を発信した。

教育フォーラムin光

「自らの学び方」について語り合う座談会



島田川学園での実践について、島田地域1中、4小の児童生徒、卒業生が座談会形式で発表を行った。